

秋 歯 技

発行
No. 64

2013年8月31日

(社) 秋 田 県
歯 科 技 工 士 会
広 報 部

平成25年度総会開催！

平成25年5月26日(日) 午後1時
より秋田県青少年交流センターユースパルにおきまして秋田県歯科技工士会の総会が開催されました。

総会員数157名のうち、委任状77、出席者95名により総会が有効であることを確認しました。



議事に先立ち、平川直美氏を議長として選出し、議事登録署名人に加賀屋修、田中清志両氏を選出いたしました。

今野悟県技会長より、これまでの事業報告と公益法人移行の経過報告、これからのボランティア活動の重要性などの挨拶のあと議事討議に入りました。

第1号議案 平成24年度事業報告では学術部より生涯研修での勉強会で秋田県技以外の歯科技工士が参加されていることや、歯科技工士会未入会の方の参加があるなどが報告されました。

学会発表では、日本歯科技工士学会第34回学術大会が平成24年9月15日(土)～16日(日)ママ

カリフォルニア(岡山県)で行われました。

*テーブルテクニク

岩沢 毅「統計調査に現れた歯科技工士」就業届と国勢調査に関連して」

*ポスター発表

田中清志「閉鎖型睡眠時無呼吸症候群に用いる咬合採得装置で得られたデータ解析」

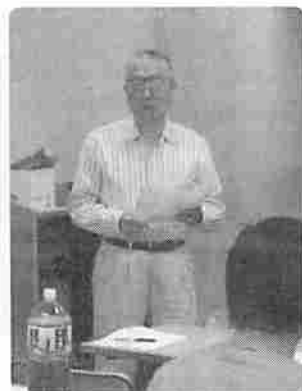
その後、公衆衛生活動について、種苗交換会時に行われた歯科補綴物の展示、歯科技工に関するパネル展示、来場者の手型採取、秋田県歯科医師会との共同で虫歯予防週間に合わせて秋田県民に歯の大切さ呼びかける啓蒙活動、FM秋田でラジオスポット広告放送、ホームページでの研修会、献血ボランティアの呼びかけ、種苗交換会の記事の更新状況等について報告がありました。

ボランティア活動では、イオンモール秋田で行われた献血ボランティア、岩手県大槌町での側溝の泥出し作業での大変さ、まだまだ復興には程遠かった町の状況が報告され、継続的に人員を派遣する

ことを確認しました。

第2号議案 平成24年度決算報告

が行われ、監査報告では杉山隆、松田博光両氏により処理内容は適切であったとの報告、質疑応答と賛否採択があり、ここに総会が無事終了したことをご報告申し上げます。



患者さんと対話ができる環境づくりを

会長 今野 悟

会員の皆様には、常日頃会務へのご理解・ご協力に感謝申し上げます。

昨年度は予算総会、臨時総会そしてこの度の決算総会とたて続けに総会の通知が送られていき、戸惑いもあつたかと思われましたが、お陰様で秋歯技厚生会を立ち上げることもでき、24年度の決算も承認され、いよいよ公益法人取得に向けての申請に入ることができま

す。公益事業として今年の新たな取り組みは、毎年種苗交換会の会場で行っていた技工フェアを、歯の衛生週間に合わせて大森山動物園で実施



したことです。初めでの試みでしたが、けれども、歯科医師会・衛生

士会の協力を得て、天候にも恵まれて大勢の来場者がありました。

歯科医師会と衛生士会が加わると、催し物の幅が広がり、注目度がUPした感じがあります。動物園側にも、これを継続事業としていくことを申し入れているので、来年もまた皆様のご協力をお願いいたします。

また4月に施行された「歯科技工士法施行規則の一部を改正する省令」においては、日技からはもちろん、県行政からも各歯科医院・歯科技工所に通知されました。6月には自営者部会を開催して確認したと思いますが、まだ徹底されたいないように見受けられます。

青森県において、保健所の抜き打ち調査が入ったとうわさがありますので、いま一度見直していただけならと思います。

昨年12月には政権が変わり、アベノミクス効果によって、経済の

回復が期待される一方、我々歯科技工経済は、それほど実感として感じられず依然厳しい状況におかれています。

技工学校の店員割れ、閉鎖等、若者の技工離れが数年前から目立ち、技工士不足が心配され始めてきました。ここ最近、歯科医師会の中でも、技工士不足の危機を唱える声が聞かれます。どうしたら魅力のある、誇りの持てる職業として位置づけできるのでしようか。なぜ若い人がやめていくのか。将来に光が見えないから、一生の仕事として誇りがもてないから。

先にも書きましたように、省令改正等により、我々の仕事・技工の環境もいろいろ変化してまいりました。

5月には、与党・自民党に技工士に関する制度推進議員連盟が設立され、今後さらに経済問題改善に期待が持てると思います。

そんな時だからこそ、いま一度技工士という職業を通して医療人であるということを確認し、歯科技工士を通して患者に喜ばれそれを自分の喜びとする」ことがで

おめでとうございます。これからもがんばって下さい。

生涯研修修了者



- 【総会で表彰された方】
- 第5期 酒樹 栄
 - 第4期 田中 清志
 - 第2期 佐藤 仁史
 - 渡辺 倫史
 - 加賀 雅義
 - 第1期 福士 省治

きる、患者の顔が見られ対話ができる環境づくりを真剣に考える時期にきていると思います。魅力ある、誇りの持てる職業としてさらに安心して技工ができる経済基盤を次の世代の若い技工士に残していく義務があると思います。

各地区報告

【中央区】

6月16日秋田テルサにおいて、中央地区勉強会が行われました。

今回は、(株)松風による新しい硬質レジンの実習で、当初は模型を持ってきた人だけが築盛の予定でしたが、松風さんのご厚意により人数分の模型を用意して頂き、義歯畑の人間も全員で築盛体験しました。

私もその義歯畑の一人で、悪戦苦闘しましたが、周りのベテランセラミストに教えて頂きながら、なんとか一歯仕上げる事が出来ました。普段やらない仕事でしたが、なかなか面白く貴重な体験をさせてもらいました。

また、詳しくは決まっていないのですが、今年の10月20日にジルコニア関係の講習会を予定しておりますので皆様ふるってご参加下さい。それとこれも詳しく決まっていますが9月の終わりか10月の初めに大槌町に震災ボランティア



アに行く予定です。興味のある方は私のほうまでお問い合わせ下さい。
(佐々木秀行)

【県南地区】

今年は早めの会報を会員に配布

し7月14日からの県南旅行案内も同封いたしました。今年も多くの会員及び家族が旅行に参加し、楽しめそうです。

8月31日(土)、秋田県歯科技工士会・湯沢雄勝歯科医師会の合同義歯ネーム入れ事業が行われます。場所と時間は、担当の先生からの連絡待ちの状態です。

4年目となる事業で、年々参加者も増え、取り掛かりから終わりまでスピーディーで無駄のない連携は流石と言うほかありません。事業終了後の先生方との懇親会、飲み会も毎回楽しいものとなっております。

今年初め、佐藤達志先生による講演・研修会でお話をされた「寝たきりの方の口腔ケア」では歯科会の垣根を取っ払い、介護に関わるいろんな業種の人材を集め(ケアマネージャー・食介護...) チームとして発揮できるよう行動を起こす。その方々に多くの人が賛同し行動を共にしていると聞いております。高齢化社会に対応できる変革は、我々技工士も行動を起こす時かもしれません。

今年の研修会でメーカー2社から、硬質レジンスেমナーのオフアールを受けました。役員会で決まることですが、こんな研修会をやって欲しいという意見がございましたら各担当までご連絡下さい。
(照井 環)

【本荘由利地区】

この広報誌が皆さんの手元に届く頃には、公益法人申請がいよいよ直前に迫っている時期であろうかと思えます。今まで今野会長をはじめ、岩澤公益法人委員、事務局の三平さんが本荘にいろいろとご苦勞をし、県庁での個別相談会に幾度となく足を運び、来年4月1日までの登記に向けて、やっとの思いで「これでいけるんじゃないか」という所まで来ました。

一般の会員には実感はなくとも、支部を本会から廃止したり、厚生会を立ち上げたりと、少しずつ変わってきているなど感じている方もおられると思いますが、よければこの機会に、技工士会に対する考え方も改めてみるというのほど

うでしよう。横のつながりを密にし、個々でそれぞれの生活環境があり、ご家族の理解や協力も必要な時もあるかと存じますが、その中でできる限り行事や勉強会に積極的に参加し、組織では何が行われているのか、総会に出席してみよう。出席できないのであれば、全ての方々に委任状だけは提出していただきたいと思います。これは専務理事をやらせていただいている私の個人の見解ではなく、5月の総会であげられたものでもありませんので、意識していただけたらありがたいなと思います。

また、とくに自営者の方々には、歯科技工法の改正があったり、歯科技工録などの品質管理指針、ラボの解説や移転に関する構造設備基準、補てつ物の品質管理に関するトレーサビリティなど、これまでとは環境が変わってきております。何か確認したいことなどありましたら、問い合わせただければと思いますし、全ては患者さんのため、そして歯科技工士という資格を持つ自分自身のため、一緒に少しずつでも意識向上に努め

ていけたら……この頃はそのように切に願う次第です。(渡辺倫史)

【能代山本地区】

私の技工所の隣に「ふあり」という介護施設がある。7、8年前だったろうか、入れ歯ケースを贈呈したことがある。通常20人くらいのご老人達がお世話になっていられる。入れ歯ケースを見るのが初めてとみえて、皆が手にとつて喜んでいたので思い出す。自宅用にと、また友人にと2個3個持つていく人もいた。たまに社長さんと会う。その度に、大事に使つてますよと声をかけていただく。

我々としては、その後も現在も各施設に入れ歯ケースを贈呈してきている。今年も計画があると聞く。年々定着しているが、今後長く実行されるとうれしい。派手なことはできないが、うれしく思っている。

献血ボランティアに参加して

嶋田 健(由利本荘支部)

2月の第1週日曜日イオンモール御所野にて、毎年恒例になっていく献血ボランティアに今年も参加させていただきました。

目的は、冬の時期に少なくなる献血への参加と理解を広めるのも勿論ですが、それと共に歯科技工を広く知ってもらうことです。

献血センターの協力もあり、技工のコーナーを設けていただき、解説と献血ボランティアを技工士会員で行いました。

また、県からお借りしたスギツチ、そして私が個人的にもお世話になっているデザインナーのやなぎはらともみ先生のキャラクター「ニヤジロウ」にも協力していただきました。ちなみにニヤジロウは赤い羽根やゆるきゃらサミット、最近では六

魂祭に参加し、現在大人気のふなっしーの下積み時代を支えた、とても可愛い猫です。

当日は、普段の土曜日のほぼ倍の方が献血していただき、ひいては歯科技工にも多少なりとも理解していただいたと思われ、継続していくことが大事だと思うので、更に工夫を重ねていけたら良いと思います。



大森山動物園で技工フェア

「動物の歯の話」クイズで盛り上がる

また、歯科医師会や歯科衛生士会のご協力もいただき、歯の相談コーナーや虫歯に関する紙芝居をやっていたいただきました。多くの親子が歯の相談コーナーに訪れて歯科医師のお話を聞いていました。

当日は天候に恵まれ、沢山の来場者で賑わう中、恒例の子供の字型採りを行い、133人の字型を採りました。多くの会員が手伝いに来てくれ、それほど大きな苦勞もなく進めることができました。お手伝いいただいた会員の方々、ありがとうございます。

去る6月2日、大森山動物園開園40周年イベントの中で、「6月4日の虫歯予防デー」にちなみ、「技工フェア」を行いました。



そして、動物園の園長が「動物の歯の話」をクイズを交えてお話ししていただきました。クイズに正解した子供に歯ブラシをプレゼントしたりして盛り上がっていました。

この日はスグッチが自前の歯ブラシを片手にイベントを盛り上げに来てくれて、動物達と一緒にパレードに参加してくれました。

いずれも子供達や親御さんが沢山集まり大盛況でした。





ご協力いただいた方々に深く感謝したいと思えます。このイベントが成功に終わったのは色々な方のご協力のおかげです、ありがとうございます。



楽しくイベントを終えることができました。恒例の行事になりそうな手応えも感じました。参加してくれた皆さん、お疲れ様でした。
(佐々木順也)

公益社団法人移行申請を直前にして

「百里を行く者は九十を半ばとす」

公益社団法人推進委員(前専務) 岩澤 毅

秋田県歯科技工士会の「民による公益の増進」を象徴的なテーマとする公益法人制度改革への対応については、ここ数年間、臨時総会の開催も含む数度の総会における今野会長の方針説明、生涯研修会での制度理解を深める企画、広報誌での企画ページ等々で繰り返し、新たな公益法人制度の理解促進から、当会としての対応策の策定、県当局との交渉、そして当会自身の改革過程を会員の皆さまと共有してきました。

明治29年に定められた民法の社団法人から、新たな法人法の定める方向へと本会の組織の事業内容と組織のあり方の見直し、その内容を明文化した定款・諸規程改正、財政のあり方等々を順次適合させてきました。

そのような中で、3・11の東日

本大震災後、公益法人、一般法人、NPO法人等の非営利法人の活動を様々目にし、耳にする機会が増えてきていると思います。公益法人制度改革が、全国の社団法人等の一部に見られていた惰性に流れがちな活動と国民との乖離に楔を打ち込み、被災地支援活動にみられる民間の非営利活動を活性化させる準備をしてきたとの側面もあるかと思えます。

本会を現在所管する秋田県庁健康福祉部医務薬事課、公益法人移行に関する担当である総務部総務課公益推進班との繰り返しの渉外活動を通し、本会事業の見直しは、最終コーナーへと近づきつつあります。

衆議の後、当会の事業が将来にわたり安定的に継続する道として「公益法人移行申請」が選択されま



した。言わば、当会が公益法人としての「縛り」を持つことにより、その時々様々な時流に惑わされることなく、確固たる将来を担保する道を選択したのです。

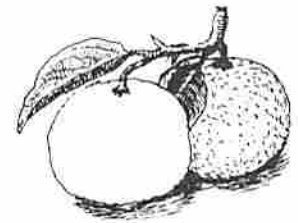
本年度方針として確定されている事業、また申請書類に記された事業は、例えて言えば法人申請の準備過程で「お墨付き」を得た事業内容であると言うこともできる訳です。

全国各地の県単位の歯科技工士会をはじめとして様々な社団法人等の一部は、財政構造や担当者等の人員確保の困難さ、情報収集の困難、当局の担当者との齟齬等々から、「公益移行」を断念した場合があります。

幸い秋田県歯科技工士会は今野会長と渡辺専務の一貫した情熱と牽引力により現在の段階に到達しました。「百里を行く者は九十を半ばとす」との例えもあります。何事も終わりのほうほど困難であるから、九分どおりまで来てやつと半分と心得、最後まで気をゆるめるな、という戒めの言葉と伝えられています。

「半ば」の公益移行申請後にも、様々な困難があるかもしれません。気を緩めることなく、今野会長、渡辺専務の下で公益法人推進委員として、役割を果たしていきたいと思えます。

会員の皆さまのご助力をお願いいたします。



～事務局より～

☆勤務者から自営者になられた方へ…必ず事務局にご連絡下さい。

☆自営者の方へ！

事業所会費（個人事業者 月1,200円、法人事業者 月2,500円）は、「1月1日現在自営者であれば、その年の4月分～翌年の3月分まで納入対象」となります。

【例】H25.1.1の時点で自営者の方

H25.3月に廃業しても、H25年度（H25.4月分～h6.3月分）は事業所会費がかかります!! 廃業した場合、早急に事務局へご連絡下さい。



日本歯科技工学会編纂による『歯科技工学用語集』が医歯薬出版社より発刊されました。歯科技工分野では『歯科技工学辞典』が発刊されていましたが、近年の急速な時代の変革に伴い新たな技術革新や材料の進展は目覚ましいものがあります。そこで、それをもとに時代に即した用語を精選収載し、『歯科技工学用語集』として日本歯科技工士学会が編纂した書籍です。

秋田県歯科技工士会会員の方々には5,880円(税込)のところを4,000円で販売しております。申込みは事務局まで。

日本歯科技工学会編纂
『歯科技工学用語集』
発刊のご案内

前回掲載しました『歯科技工学用語集』が在庫7冊となりました。
お求めの方はお早めに！

事務局より

◆ 会員動向

☆ 新入会者

小原 琢哉さん(おぼら たくや)

中央地区

勤務先: 小原歯科技工所

田村 朋子さん(たむら ともこ)

県南地区

勤務先: 歯科技工研究所

サブラトリ

稲垣 宏樹さん(いながき ひろき)

県南地区

勤務先: いながき歯科技工所

松井菜保子さん(まつい なおこ)

県南地区

勤務先: 仙北歯科医院

☆ 結婚

伊藤 晋祐さん(中央地区)

おめでとーうございます!

こ・ち・ら・ら・広・報・部

今年はとても天気が良い

梅雨の季節に入っても雨など

ほとんど降らない日が続いています

(6月27日現在)

また今年も消防団の季節がやってきました

相変わらず操法訓練が始まっています

これも立派なボランティアですからね

わが八峰町で平成25年8月31日(土)

白神音祭が開催されます

アーティストライナップを私は二度見した

須藤元気率いるWORLD ORDERが来るのだ

総合格闘技の選手だった頃からファン

なのだが第二の人生でも成功している彼を

応援してきたいのだ

そのほかに、在日ファンク、東京女子流

Prano 夏木マリ様もデーモン閣下も

お越しくださる

なんということだ!

なんとも幅広い豪華ラインナップ

完全に三度見する勢いでした

しかも入場無料 なんてこった!

どうなってるのこの町(笑)

私の住んでいる八峰町は自然が豊かです

海まで5分、山まで5分と

5分あればなんとかなる大自然です

しかし東京方面に出て行く若者もたくさん

いるのですが子供が生まれると子供はこの町

で育てたいとの理由で帰ってくる人も

結構いるのですよ LOVE八峰

その気持ちわかる わかるよ

なにせ蛍が庭を飛んでいるんですよ

よくわからん鳥がたむろしているんですよ

ちよっと行くと白神山地の世界遺産

縄文土器がむっさ出ます

そんな町に生まれこの町に誇りを持ちたい

そしていつまでも田舎であって欲しい